

## 2025年度 共立女子大学 指定校制推薦入学者選抜 試験問題

科目	学部	学科	専攻・コース
小論文	看護学部	看護学科	—
受験番号	氏名		採点

## Ⅰ 次の文章を読み、設問に答えなさい。

オンライン習慣が持つリスクを指摘する研究論文が出版され始め、スマホなどを販売する企業もその存在を無視することができなくなってきました。2018年に発表されたApple社のiOS 12には、「制限機能」としてスクリーンタイム機能が追加されました。スクリーンタイム機能とは、各ユーザーが自分で使ったアプリの種類や使用時間を記録することができる機能です。

スクリーンタイム機能の追加は、何を意味しているのでしょうか？

おそらく、企業による訴訟対策ではないかと考えられます。将来、「スマホのせいで子どもの脳発達が阻害された」「大人でも脳が萎縮してしまった」などと、スマホを製造・販売する企業に対して訴訟を起こす人が出てくるかもしれません。そうになると、企業は多額の損害賠償を支払わなければならない可能性が出てきます。そのリスクを避けるため、スクリーンタイム機能を追加して、「自分たちで適度に使用時間を制限して使ってくださいね」と、自己責任として押しつけてきたわけです。

「ピンチはチャンス」という言葉がありますが、まさに私はいまの状況を好機であると感じています。なぜなら、スマホという自己管理能力を鍛え前頭前野を育てる上で最高の教材が存在しているからです。多くの人が依存状態におちいってしまうほど、魅力的な機能がたくさんあったスマホを、もしも上手に使いこなすことができたら、ヒトはさらに進化することができるかもしれません。

遙か昔、私たちの祖先は火を使いこなすことに成功し、文明をさらに発展させました。動物たちにとって、火は命を奪う危険な存在でした。しかし、火を味方につけたヒトは、調理をしたり、暖を取ったり、外敵から身を守ったりできるようになりました。危険なものも、使い方次第では大きなメリットをもたらしてくれるのです。多くの人類がオンライン習慣にどっぷりと浸かってしまい、前頭前野の機能が失われ滅びゆく運命を辿<sup>たど</sup>ってしまうのでしょうか。

それとも、スマホという危険でかつ便利なものを使いこなし、前頭前野の機能を手放すこともなく人類が生き延び、さらなる繁栄を遂げていくのでしょうか。

出典 柳浩平著、川島隆太監修、「スマホはどこまで脳を壊すか」、

「第6章すぐに始められる脱オンライン習慣のススメ」P241-242 朝日新聞出版、2023年

(注)「iOS」…Apple社が開発したスマートフォン「iPhone」シリーズに搭載されているオペレーティングシステム (OS = Operating System) の名前。





科目	学部	学科	専攻・コース
小論文	看護学部	看護学科	—
受験番号	氏名		採点

Ⅱ 次の問1～5について、設問を読み答えを解答欄に記入しなさい。

問1 A君、B君、C君、D君の4人の体重は、A君が58 kg、B君が60 kg、C君が63 kg、D君が71 kg でした。  
4人の体重の平均は何 kg か答えなさい。

(式)

解答

kg

問2 あるイベントの参加者 2750 人にアンケート用紙 1 枚を配布したところ、アンケートの回収率は 34% でした。  
回収できたアンケート用紙は何枚か答えなさい。

(式)

解答

枚

問3 200 g の水に 50 g の食塩を混ぜると、何%の食塩水ができるか答えなさい。

(式)

解答

%

科目	学部	学科	専攻・コース
小論文	看護学部	看護学科	—
受験番号	氏名		採点

問4 動物園の入場チケットは、大人2人と子ども1人で1050円、大人5人と子ども4人では3000円でした。  
子ども1人の入場チケットは何円か答えなさい。

(式)

解答

円

問5 AさんとBさんがC公園入口から同時に反対向きに歩き始めました。Aさんは時速12km、Bさんは時速18kmで30kmの周回コースを歩いています。

AさんとBさんがすれ違うのはスタートしてから何分後かを答えなさい。

(式)

解答

分後